

今年度の検討経緯と利活用構想の提出について

お試し活用による検討の経緯

作山会長から菊地市長へ利活用構想を提出



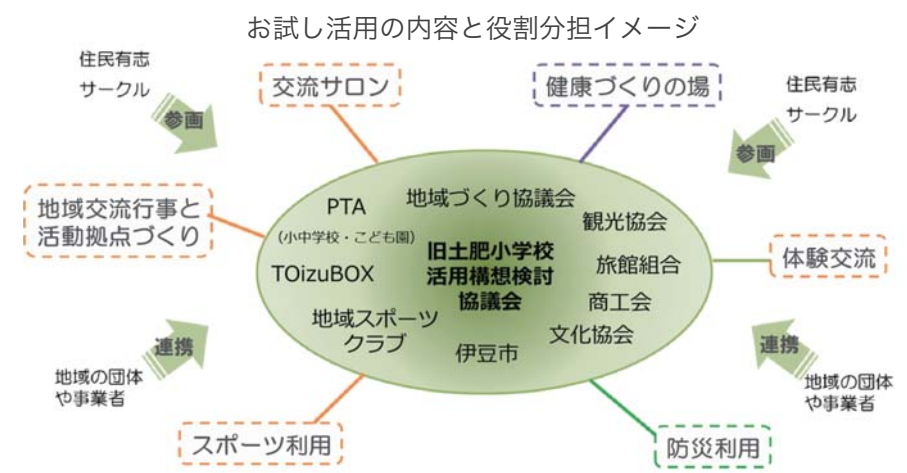
今年度は、4回の協議会を開催するとともに、平成30年11月と平成31年1月に旧土肥小学校の利活用に向けた「お試し活用」を行いました。
また、第4回協議会后、協議会会長の芝浦工業大学作山康教授が検討内容をまとめた旧土肥小学校利活用構想を菊地市長に提出し、次年度以降の展望も含めて報告しました。

- 第1回**
平成30年9月25日
1. 検討趣旨とスケジュール
2. 土肥地域の活性化と旧土肥小利活用の方向性（H29アンケート報告、意見交換）
3. 旧土肥小の地域住民向けお試し活用と進め方
- お試し活用①**
平成30年11月3日
○ふるさと祭り・トイズハロウィンと連携したお試し活用
・旧土肥小校舎で健康づくり（簡易健康診断・軽いトレーニング）、休憩サロン、写真展などのコーナーを実施
- 第2回**
平成30年11月27日
1. 地域利用ニーズについて
2. 外部利用ニーズについて（サウンディング報告）
3. 土肥地域の活性化と旧土肥小利活用の方向性
4. 外部利用向けお試し活用実験に向けて
- お試し活用②**
平成31年1月27日
○土肥桜まつりと連携したお試し活用
・フィットネス体験、海藻おしぼ体験、革細工体験、サイクリングスタンプラリー、写真ワークショップ、休憩サロン、キッズコーナー、写真展などのコーナーを実施
- 第3回**
平成31年2月5日
1. 地域及び来訪者の利用ニーズについて
2. 事業者利用ニーズについて（サウンディング報告）
3. 土肥地域の活性化と旧土肥小利活用の方向性（利用イメージ案）
- 第4回**
平成31年3月7日
1. 地域内外の利用ニーズについて（サウンディング報告）
2. 今年度振り返りと旧土肥小学校利活用構想（案）について
3. 来年度以降の進め方について

来年度の検討に向けて

- ・旧土肥小学校利活用構想検討協議会を定期的に開催し、利活用に向けた体制づくりや仕組みづくりについて検討を行います。
- ・「旧土肥小学校を使って何かやってみたい」「旧土肥小学校はこういう使い方ができるのではないか」という地域のアイデアを生かしながら、住民が楽しく交流できる拠点の実現に向けてお試し活用を継続します。

- 来年度の協議会の検討テーマ案**
- ①地域のお試し活用希望者・活用案の募集と応援団づくり
 - ②お試し活用の内容と役割分担
 - ③検討協議会とお試し活用のスケジュール



旧土肥小学校利活用構想を取りまとめました！

旧土肥小学校活用構想検討協議会では、地域の皆さんのご意見をいただきながら、旧土肥小学校の活用に向けた検討を行っています。
平成31年3月7日（木）に今年度最後となる第4回協議会が伊豆市役所土肥支所において開催され、今年度の検討の総括として、旧土肥小学校利活用構想の取りまとめを行いました。また、来年度以降の検討協議会の進め方についても協議を行いました。

第4回協議会での協議事項

会議では、旧土肥小学校利活用構想（案）について、目指す利活用の姿とその実現に向けた考え方などを中心に協議を行いました。また、来年度以降のお試し活用に向けて、管理方法や体制などの検討課題について意見交換し、構想としてまとめました。

第4回協議会での協議内容

利活用構想についての意見

利活用の考え方と目指す姿について	利活用の方針について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 構想で示されている内容を全て実現するのは難しいのではないかと。→旧土肥小の活用で考えられるものをメニューとして広くあげているものであり、全て実際に取り組む必要があるということではない。まずはできることから始めることが重要。 → 構想に示されていない利活用についても、お試し活用を行いながら検討していくことが大切。 ・ 構想では、管理方法など実際に取り組むにあたって解決すべき課題について、あまり触れられていないが問題はないか。 → 管理方法も課題の一つだが、それによって実現が難しいと考えるのではなく、お試し活用をしながら課題を解決していくという内容の構想としている。 ・ 幅広い世代の住民が、器具を使った健康づくりの場が土肥の中にあると良いと思っている。男性がそのような場に参加する機会を増やすことも大切。 ・ 子どもたちが旧土肥小の校庭と校舎内の両方で遊べるようになると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ団体では、手間がかかってもできるだけ安く合宿をしたいというニーズがある。旧土肥小ではそのような利用ができないか。 → 商売としての宿泊業を旧土肥小で行うということではなく、例えば、宿泊についてのルールを決めた上で、オープンスペースのような場を設け、寝具を持ち込んで寝泊まりするような利用については考えられるのではないかと。

来年度以降の進め方についての意見

校舎の管理方法と体制について	利活用の考え方と実現に向けて
<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎を利用する範囲が広すぎると管理が大変なので、例えば、普通教室棟と特別教室棟の間を簡単にでも仕切るようなことはできないか。 → 実際に校舎を使用してみて、範囲が広く管理することは難しいということであれば、管理区分の設定についても検討したい。 → コーンで簡単に仕切るなど、できることから始めてみるのも良いのではないかと。 → 鍵の管理、窓の開け閉め等は有償ボランティアとすれば、やっても良いという人が出てくるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎はできるだけ開いている時間が長い方が良いと思うが、最終的には長い時間使うことができる利用方法を優先して管理をしてもらうということか。 → あくまでも旧土肥小が地域の人が集える場として利用されることが優先事項であり、管理を優先して利用してもらうことはない。最終的には定期的に利用してもらいたいが、お試し活用の段階では単発や短期的な利用でも問題ない。 ・ 土肥・小土肥地域づくり協議会としては、旧土肥小の一部を住民が集える場や健康づくりの場として試行的に活用していきたい。

旧土肥小学校利活用構想の概要

旧土肥小学校利活用の考え方（地域の拠点として）

地域住民が楽しめる使い方や土肥の魅力を発信できる使い方を基本とします

Step1

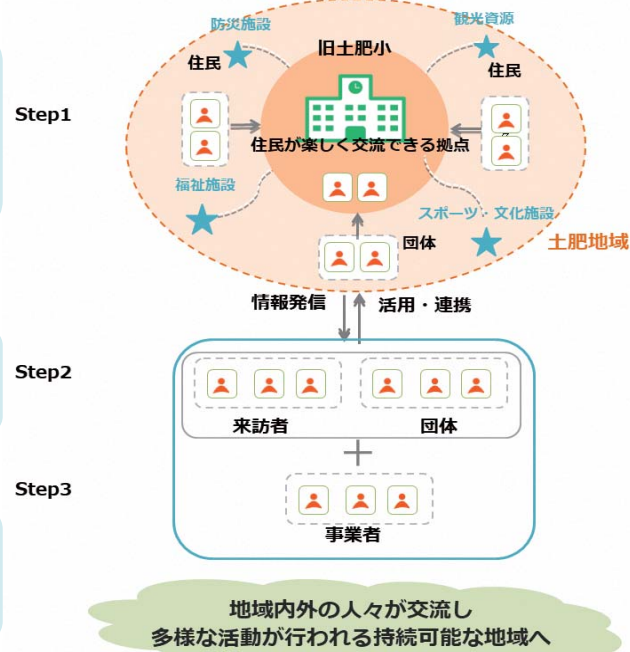
- 幅広い年代の住民が交流できる拠点とすることを目指します。
- 土肥には旧土肥小学校以外にも多くの魅力があるので、**周辺の地域資源等と連携して地域の魅力を発信**します。

Step2

- 土肥地域の魅力を発信し、来訪者を呼び込みます。

Step3

- 将来的には、**地域の交流拠点として、観光交流客数の増加や事業者の誘致など多様な活用**を目指します。



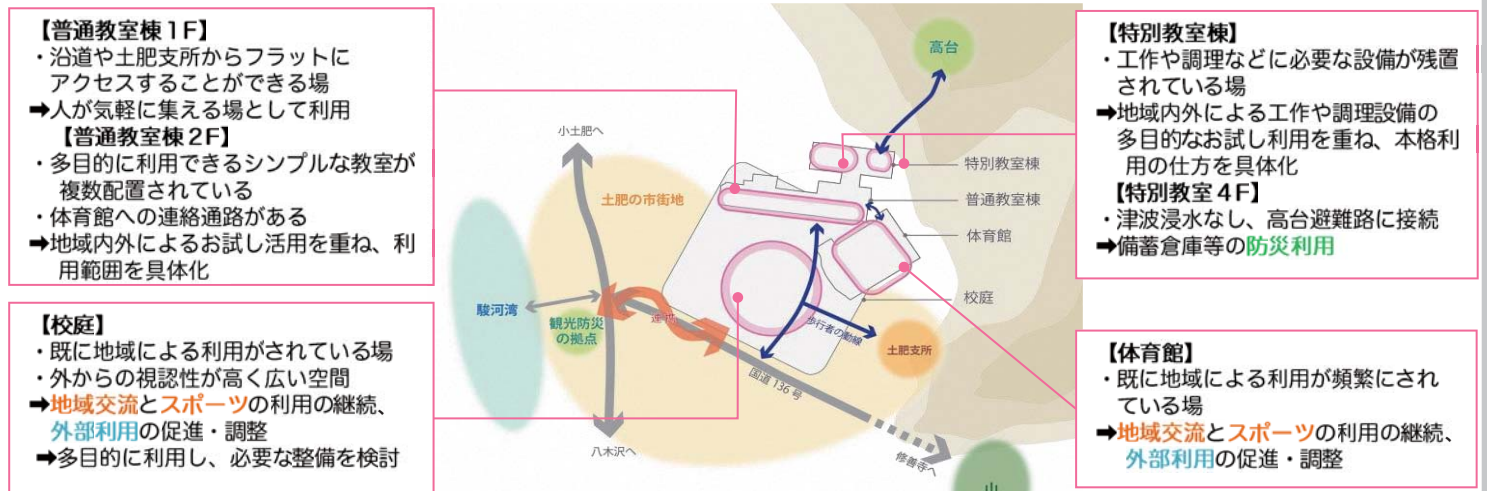
地域ニーズと利活用の方向性

- 地域のニーズである**防災・健康福祉/教育・交流・産業**の4テーマを利活用の基本とします。
- 今後の利活用の方向性として、「**地域主体による防災利用**」「**地域主体による健康づくりの場としての利用**」「**地域交流拠点としての利用の継続**」「**地域内外のスポーツ体験交流への活用**」「**外部企業による活用（一部賃貸借含む）の検討**」の実現を目指します。

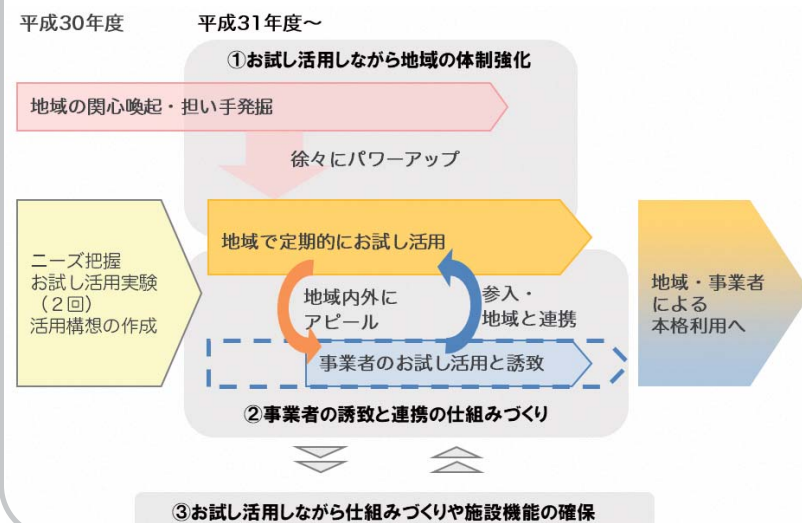
	地域の意向・アイデア (H29アンケート、協議会意見)	地域の施設	地域の人材	旧土肥小活用の方向
地域利用	防災 【防災】 ・防災施設、防災学習等	津波避難タワー、津波避難ビル（来訪者の利用もあり）	自主組織 ・自治会 ・地域づくり協議会 ・TOIZuBOX ・チームハコブネ	協議会での検討やお試し活用実験の結果
	健康福祉・教育 【高齢者支援】 ・介護、暮らしの相談 【子育て支援】 ・無料塾、病後児保育、託児 【医療・健康】 ・医療施設 ・トレーニングや健康づくり	・特養ホーム（1） ・有料老人ホーム（2） ・塾なし、総合病院なし ・スポーツジムなし ・丸山スポーツ公園（野球・テニスコート等）	福祉 ・地域包括支援センター ・（社福）信愛会、（有）あいなと、（有）きたさと ・シルバー人材センター	
外部利用	交流 【交流・物販】 ・趣味、憩いの場 ・道の駅、買い物場 ・カフェ、食堂 ・イベントの場 ・広場、公園 【体験交流】 ・体験工房 ・オートキャンプ ・移住定住相談 【宿泊】 ・スポーツ合宿、研修	・土肥支所、公民館（5） ・図書館 ・スーパーマーケットあり ・コンビニ、飲食店あり ・5直売所、朝市 （小土肥八幡神社、松原公園） ・松原公園 ・丸山スポーツ公園	教育 ・伊豆総合高校土肥分校 ・土肥小中一貫校 ・土肥こども園 文化・スポーツ ・地域スポーツクラブ ・文化協会	
	産業 【貸しオフィス等】 ・オフィス、研修所、私塾、大学の研究室誘致 【創業支援・人材育成】 ・養殖、加工・製作施設 ・貸店舗や起業相談	・キャンプ場（2） ・土肥金山 ・アウトドアビレッジTHE101 ・旅館、民宿多数	観光 ・観光協会 ・旅館組合 ・民宿組合 ・土肥マリン観光 ・セントラルスポーツ その他産業 ・JA、漁協 ・商工会	
		空き施設・空き家あり		

旧土肥小施設の活用方針

- 旧土肥小施設の立地や施設の特性を活かして、図のような活用の場を検討します。
- 事業者の参画意向があった際には、本構想の方向性との整合性を重視し、連携することを目指します。



実現に向けたステップアップの道筋・手順



- お試し活用しながら地域の体制強化**
・まずできることからお試し活用を始め、利用者や担い手を増やしつつ、体制・仕組みづくりを進めます。
- 事業者の誘致と連携の仕組みづくり**
・本年度実施したサウンディングをもとに、事業者誘致にあたっての地域利用確保の条件の具体化と継続した事業者誘致と仕組みづくりを進めます。
- お試し活用しながら仕組みづくりや施設機能の確保**
・定期的な利用へとお試し活用をステップアップしながら、本格利用に必要な準備を進めます。